

どこカレ通信

52号

新潟県立看護大学看護研究交流センター e-mail nirin@niigata-cn.ac.jp

TEL 025-526-2822

2023. 8発行



9月から看護現場に活かす3コースを開催します！ ただいま申込期間中です(オンライン開催)

9月 9日 (土) 13:30~15:30 何か変！院内急変時の対応力を磨く

—急変予測につながるフィジカルアセスメントと急変時の対応—

講師：新潟県立中央病院 救急看護認定看護師 涌井幸恵氏

9月 30日 (土) 13:30~15:30 高齢者のエンド・オブ・ライフケア

講師：新潟県立看護大学 准教授 酒井禎子氏

11月 11日 (土) 13:30~15:30 看護職のためのセルフコンパッション—自身を癒し・労り・安らぐ—

講師：新潟県立看護大学 講師 船山健二氏

看護職学習支援公開講座「看護研究支援3コース」が 終了しました(オンライン開催)

開催日	テーマ	講師	参加者数
① 5月20日 「看護研究のテーマを見つけよう」	}	新潟県立看護大学 教授 石田和子氏	36名
② 6月17日 「看護研究方法の理解」			36名
③ 7月29日 「研究計画書の書き方」			22名
<p><アンケートより意見・感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護研究を行う意義がとてもわかりやすかった。 ・今年度、研究することになったが、研究が久しぶりなので受講した。 ・具体的な経験も交えて話されイメージしやすかった。看護研究をやりたくなった。 ・講座を受け、研究の見通しを立てることができた。 ・研究を進めるにあたり、知りたいことがあり整理がつかない状況だが、文献を検討し、参考にして研究を進めてみようと思うことができた。実際にやらないと身につかないと思う。 ・現場で疑問に思ったことを研究に繋げていくことが第1歩だと感じた。看護師長という立場だが、スタッフならではの気づきを認識し、応援しながら院内教育、看護研究の指導をしていこうと思う。 ・今後の看護研究の資料として参考にできる。ただ理解するのに難しい点もあり（自分の勉強不足）、対面式などで質問しやすい環境があると良かったと思う。 			

★★地域課題研究に挑戦しませんか？9月から公募開始です★★



このパンフレットがあなたの職場にも届いています。是非ご覧ください。

- ★ 研究の知識が必要な研究計画書は、共同研究者となる教員の指導を受け作成します。オンラインでの指導も可能です。
- ★ 1年6か月をかけて研究に取り組みます。
- ★ 研究に必要な資金の助成が受けられます。

<ご案内> 10月14日(土)PM13:00から2022年度に取り組んだ地域課題研究の発表会を開催します。看護研究支援コースにご参加いただいた事をきっかけに研究に挑戦された方もいらっしゃいます。是非ご参加ください。参加費無料・申し込み要。

<どこカレイト募集のご案内>

★パソコンかスマホ、インターネットに接続できる環境があればいつでも・どこでも学習できる“どこカレイト”を募集しています。詳しくは下記のWebサイトをご覧くださいか、いずれかの問い合わせ先におたずねください。

Web サイト
<https://www.nirin.jp/>

連絡先
025-526-2822

メール アドレス
nirin@niigata-cn.ac.jp